

製品名: グルタミナーゼ (3F15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11506**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.36mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	73kDa

抗原情報

遺伝子名	GLS
別名	Glutaminase kidney isoform; GLS; GLS1, KGA; K-glutaminase; GAM; GAC; Glutaminase C; L-glutamine amidohydrolase;
遺伝子 ID	2744.0
SwissProt ID	O94925
免疫原	ヒトグルタミナーゼの合成ペプチド

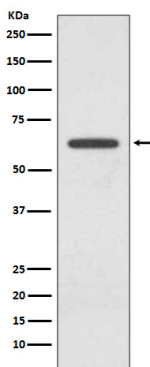
背景

グルタミンの腎臓異化の主要経路における最初の反応を触媒する。酸塩基恒常性の維持に役割を果たす。脳内の神経伝達物質グルタミン酸のレベルを調節する。アイソフォーム 2 は触媒活性を欠く。アイソフォーム 1 とアイソフォーム 3 はリン酸によって活性化される。BPTES によって阻害される。BPTES はサブユニット間に結合し、テトラマーからダイマーへの解離を促進する。グルタミンの腎臓異化の主要経路における最初の反応を触媒する。酸塩基恒常性の維持に役割を果たす。脳内の主要な興奮性神経伝達物質である神経伝達物質グルタミン酸のレベルを調節する (PubMed:30575854、PubMed:30239721、PubMed:30970188)。

研究分野

神経科学

画像データ



293T 細胞溶解物中のグルタミナーゼ発現のウエスタンブロット分析。